

畜産臭気対策の取組状況について

【畜産臭気測定結果】

1 調査の目的

○令和3年度の調査では、堆肥化施設の攪拌作業と臭気指数に相関性は具体的に確認できず、常に臭気が確認された。

⇒令和4年度の調査では、事業所内の各施設の臭気発生状況を確認した。

2 実施内容

○市内養豚場（全10事業所）の場内にて臭気指数を測定した。（全78箇所）

3 実施日

○令和4年7月20日～9月5日（1週間に2～3事業所を測定）

4 調査結果

(1) 養豚場内の主要な施設の付近で測定した結果

| 主な施設分類 | 臭気指数の平均値 | 最大値 | 最低値 | 測定箇所 |
|-------------|----------|-----|------|------|
| 廃水处理施設（尿槽等） | 26.5 | 32 | 25 | 10箇所 |
| 堆肥化施設 | 25.86 | 37 | 17 | 7箇所 |
| 豚糞排出口 | 21.2 | 25 | 14 | 5箇所 |
| 豚舎 | 20.98 | 31 | 10未満 | 40箇所 |
| 堆肥舎 | 20.43 | 26 | 14 | 14箇所 |
| その他（事業所入口） | 14 | 15 | 13 | 2箇所 |

（参考）敷地境界における市の基準値は市街化区域が15、その他の区域が18

⇒養豚場内のいずれの施設も臭気の高い値が確認された。

(2) 臭気の種類別出現頻度

| 臭気の種類 | 飼料臭（干物臭） | 尿臭（アンモニア臭） | 堆肥臭（発酵臭） | 糞臭（ストール臭） |
|----------|----------|------------|----------|-----------|
| 出現頻度／地点数 | 32/78 | 19/78 | 14/78 | 13/78 |

※臭気判定士が現地調査時と分析時に感じた臭気質を大別して4種類に分類した。

⇒豚舎から発生する飼料臭の出現頻度が最も高かった。

(3) 臭気指数上位地点と臭気の種類の関係

| | | | | | | | | | |
|-------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|
| 臭気指数 | 37 | 32 | 32 | 32 | 32 | 31 | 31 | 30 | 29 |
| 臭気の種類 | 尿臭 | 尿臭 | 尿臭 | 尿臭 | 尿臭 | 飼料臭 | 堆肥臭 | 飼料臭 | 尿臭 |
| 施設の分類 | 堆施 | 堆施 | 廃水 | 廃水 | 廃水 | 豚舎 | 堆施 | 豚舎 | 廃水 |

※堆施：堆肥化施設 廃水：廃水处理施設

⇒堆肥化施設と廃水处理施設が強い尿臭を発生し、測定値の上位を占めた。

【今後の対策と課題】

○養豚場内すべての施設で臭気対策が必要

⇒畜産環境に詳しい専門家にアドバイザーとして参加いただき、事業者と個別面談を実施し、全ての測定箇所（施設）の改善対策を協議する。その後、対策可能なものから実施し、市が財政支援を行う。なお、予算が不足する場合は、補正等で対応する。

以上